

令和元年度執行事務事業

施策名	基本事業	番号	事務事業名
個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現	男女共同参画の意識づくりの推進	1	日本女性会議開催事業
		2	男女共同参画相談事業
		3	男女共同参画審議会運営事業
		4	男女共同参画啓発事業
		5	男女共同参画ネットワークさの支援事業
		6	男女共同参画プラン策定事業

事務事業名		男女共同参画啓発事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	7 市民参加による自立したまちづくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	人権・男女共同参画課
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	男女共同参画係	担当課長名	鈴木弘子	
	施策	2 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 男女共同参画の意識づくりの推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
予算科目	2072	一般	2	1	16	男女共同参画啓発事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H12年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市男女共同参画推進条例					
					事業区分						
						市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		直営			
						事業分類		講座・教室・イベント等開催事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長市政公約		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
男女共同参画社会の実現に関する市民理解を高めるため、講演会・講座の開催、広報による啓発や情報紙の発行、小学生の標語・作文の募集、男女共同参画推進事業者表彰、職員研修会の開催等あらゆる層に対し様々な手法で啓発を図る。		①女性の再チャレンジ支援講座(8/7) ②男女共同参画基本講座(8/27.9/1) ③職員研修会兼女性のキャリアアップ講座(2/17) ④男女共同参画推進事業者表彰(1/17) ⑤DV対策担当者庁内連絡会議(6/20) ⑥広報さの特集ページ掲載(6月号、10月号) ⑦情報紙パレットの発行(3月、9月) ⑧小学生の標語・作文の募集 ⑨男女共同参画週間(6/23～29)の啓発 ⑩女性に対する暴力をなくす運動期間(11月)の啓発 * DV講座、男女共同参画講演会、地域指導者研修会、事業者研修会は台風第19号の影響により中止					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
講演会等の啓発活動の実施回数		回	17	14	10	17	17
啓発事業の実施回数		回	4	4	3	4	4

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市民	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	市人口	人	120,018	119,348	118,450	117,706	

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的	啓発活動を通して男女共同参画に対する理解を深めてもらう。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
		男女共同参画講演会、研修会延べ参加者数	人	657	1,403	522	400	400
		講演会等がよかったと答えた人の割合	%	93.4	93.5	91.7	95.0	96.0

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

男女共同参画の理解を深めている。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	男女の役割は固定せず、男女どちらが仕事をしていても家庭にいても良いと考えている市民の割合	%	41.6	41.0	49.8	42.0	43.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	114	108	605	388				
	事業費計(A)	千円	114	108	605	388	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報償金	0	報償金	5	報償金	0	報償金	30
			報償物資費	36	報償物資費	35	報償物資費	35	報償物資費	41
費用弁償			4	消耗品費	7	消耗品費	65	消耗品費	26	
消耗品費			7	印刷製本費	61	印刷製本費	506	印刷製本費	291	
印刷製本費			67							
人件費	人	3	3	3	2					
のべ業務時間	時間	440	440	440	440					
人件費計(B)	千円	1,679	1,681	1,679	1,679	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,793	1,789	2,284	2,067	0				

事務事業名	男女共同参画啓発事業	担当部	市民生活部	担当課	人権・男女共同参画課	担当係	男女共同参画係
-------	------------	-----	-------	-----	------------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	国及び県において、男女共同参画に関する制度が整備されてきたことに伴い、平成12年度より女性関連事務事業から男女共同参画啓発事業となる。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国においては、平成28年に「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」、平成30年に「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」を制定し女性のあらゆる分野での活躍を推進している。県においても、平成28年に企業や団体との連携による「とちぎ女性活躍推進プロジェクト」を立ち上げ女性の活躍を推進している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	中止となったが日本女性会議開催をきっかけに市内における男女共同参画の気運を上げることが求められている。

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	日本女性会議開催に向けて市民と協働による企画運営を行うことで、関係者および市民の意識の向上を図った。また、第3期プランの策定においては、より効果的な啓発事業となるよう十分な協議を行った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	啓発事業を実施することにより、男女共同参画について考える機会が提供でき、さらなる気づきが得られるなど、「男女共同参画社会の実現」という政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	国において、男女共同参画社会の実現は緊急かつ重要な課題とされており、自治体においても同様の取り組みが求められているため、市が中心となって市民、事業者や市民団体と協働して男女共同参画に関する事業を行う必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	市民一人ひとりに男女共同参画の理念を理解してもらい、男女共同参画社会の実現にむけた活動に取り組んでもらうことが必要である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	男女共同参画の推進には様々な立場や年代の人たちに理解してもらう必要があり、啓発内容や情報提供の方法などを工夫することにより、成果向上が期待できる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	男女共同参画の意識づくりの推進のための事務事業は他にはない。 * 類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	啓発の内容を充実させるための最小限の経費であるため削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	市民に広く男女共同参画について理解してもらうための事業であり負担を求めない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	男女共同参画社会が実現するまで、事業は継続となる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 第3期プランに基づき取組を推進するとともに、効果的な啓発方法を研究する必要がある。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	男性中心の社会や職場での慣行がまだまだ根強いと、特に会社や地域の団体、家庭における意識改革を強く促していかななければならない。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		日本女性会議開催事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	7 市民参加による自立したまちづくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	人権・男女共同参画課
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	男女共同参画係	担当課長名	鈴木弘子	
	施策	2 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 男女共同参画の意識づくりの推進					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	2085	一般	2	1	16	日本女性会議開催事業					
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H29年度～R1年度			根拠法令 条例等	事業区分		市単独事業・国県補助事業		
								市単独事業		市単独事業	
								任意の事業・義務的の事業		任意の事業	
								実施方法		一部委託	
								事業分類		支援事業	
								リーディングプロジェクト		該当	
								市長市政公約		3-①-1	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
人口減少と少子高齢化が加速する中、豊かで活力ある地域を作るには、女性も男性も活躍できる社会の実現が必要である。このような状況下、男女共同参画社会の実現を目指し社会の様々な課題について解決策を探る「日本女性会議」を開催することにより、市民の意識の醸成及び、地域の人材育成や男女が働きやすい職場づくりを進めるため事業を行う。日本女性会議2019さの実行委員会へ交付金を交付し、大会を開催する。 【市の活動】実行委員会事務局として、会議や大会運営に関する支援等を行う 【団体の活動】イベントの企画、開催PR、協賛の募集、大会運営等		・日本女性会議2019さの開催(10/25, 26, 27) *台風第19号の影響により開催は中止 (申込全体数:1,574人、全体会:1,163人、交流会487人、エクスカーション166人、分科会前半1,174人、分科会後半:1,086人) ・実行委員会総会の開催2回(平成31年度総会、解散総会)実行委員会の開催3回。運営委員会の開催17回 ・ボランティア説明会2回、開催PR事業7回、広報さの特集ページ2回(6月、10月)、専用ホームページ・SNS運用、大会運営・申込み関係業務等					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
実行委員会等の開催数		回	8	33	22		

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市民	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	市人口	人	120,018	119,348	118,450		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的	男女共同参画の意識の向上を図る。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
		男女の地位が平等になっていると考えている市民の割合(社会全体)	%	14.8	14.4	14.5		

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

男女共同参画の理解を深めている。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	男女共同参画講演会、研修会延べ参加者数	人	657	1,403	522		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円			5,000		3,205					
	その他	千円										
	一般財源	千円	390		3,167		7,279					
	事業費計(A)	千円	390		8,167		10,484		0		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報償金	5	臨時職員社会保険料	75	臨時職員社会保険料	220				
			普通旅費	202	賃金	461	賃金	1,448				
消耗品費			28	旅費	189	消耗品費	4					
印刷製本費			41	負担金	14	通信運搬費	20					
交付金			114	交付金	7,428	交付金	8,792					
人件費	人	3		3		3						
正規職員従事人数のべ業務時間	時間	720		660		750						
人件費計(B)	千円	2,748		2,522		2,861		0		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,138		10,689		13,345		0		0		



事務事業名	日本女性会議開催事業	担当部	市民生活部	担当課	人権・男女共同参画課	担当係	男女共同参画係
-------	------------	-----	-------	-----	------------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	男女共同参画社会の実現に向けた課題解決や交流促進、ネットワーク化を目的に1984年(昭和59年)愛知県名古屋市で日本女性会議の第1回大会が開催された。2019年(令和元年)度により本市において開催が決定されたことを受け、平成29年度より本事業を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国は「社会のあらゆる分野において2020年までに、指導的地位に占める割合が少なくとも30%程度」とする目標を設定し、様々な取組を進めてきた。一方、男女の仕事生活を取り巻く状況においては、長時間労働や男性中心型労働慣行などの様々な課題が存在しており、それらの変革のために、職場・地域・家庭等における取組の推進が求められている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成26年度末に男女共同参画ネットワークさのの会員数名から、「日本女性会議」の本市開催について提案があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	日本女性会議を開催し、全国各地から様々な世代や立場の方々が集い、情報や意見の交換がなされることは男女共同参画社会の実現に繋がる大きな一歩となる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	主催は日本女性会議2019さのの実行委員会と市であり、人権・男女共同参画課に事務局を置く。他市の開催においても同様であり、大会長には市長が就任しており、市の関わりは必然である。
有効性 評価	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	性別にかかわらず誰もがその個性と能力を發揮できる男女共同参画社会の実現のためには、市民意識のさらなる向上が必要である。日本女性会議の開催を通じて、市民一人ひとりが男女共同参画社会の実現について考える契機となり、意識改革に繋がるため。
	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	より多くの市民や団体が大会の企画運営に携わること、そして考えてもらうことが意識改革へ繋がるものと期待する。
効率性 評価	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	男女共同参画に関する全国規模のイベントを開催する類似事業はない。 * 類似事務事業があれば、名称を記入
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	充実した大会の企画運営に向けて寄付金や協賛金を募り、市からの支出は極力抑えた。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	大会参加者からは適正な参加費を求めた。
	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	本年度末、実行委員会の解散とともに本事業は終了となる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業終了 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		男女共同参画相談事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	7 市民参加による自立したまちづくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	人権・男女共同参画課	
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	男女共同参画係	担当課長名	鈴木弘子		
	施策	2 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業			
	基本事業	2 男女共同参画の意識づくりの推進					実施計画事業・一般事業		一般事業			
	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
予算科目	2079	一般	2	1	16	男女共同参画相談事業						
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H19年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市男女共同参画推進 条例						
							市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
							任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		一部委託				
						事業分類		相談事業				
						リーディングプロジェクト		該当なし				
						市長市政公約		該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
佐野市男女共同参画推進条例にある、男女共同参画の推進を阻害する行為(家庭内暴力、DV、性差別など)に関する相談に適切に対応するため、専門の相談員による相談を行う。 1 女性のためのカウンセリング相談 ・DV被害者の支援を行っている「認定NPO法人ウイメンズハウスとちぎ」の女性カウンセラーによる相談 ・相談日は毎月第1・第3木曜日、予約制。相談時間1人50分 第1木曜日は3枠、第3木曜日は2枠 2 女性相談 ・家庭児童相談課の女性相談員による相談 ・相談日は毎月第4木曜日(月1回)		〔活動内容〕 ・女性のためのカウンセリング相談: 相談件数34件 ・女性相談: 相談件数9件					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
相談件数		件	33	31	43	30	30

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

女性市民	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	女性市民数 (住民基本台帳 4/i現在)	人	60,754	60,309	59,724	59,273	

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的	自立して、安心、安全な生活ができるようになる。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
		相談者数/女性市民人口	%	0.05	0.05	0.07	0.05	0.05
		「きてよかった」と答えた件数/アンケート回答相談者数	%	100	100	100	100	100

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

男女共同参画の理解を深めている。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	男女共同参画相談窓口延べ開設時間数	時間	126	126	126	126	126

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費投入量	財源内訳		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円		515	515	515	515	
	事業費計(A)	千円		515	515	515	515	0
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			業務委託料 負担金	315 200	業務委託料 負担金	315 200	業務委託料 負担金	315 200
	人件費	人	3	3	3	2		
	のべ業務時間	時間	140	140	140	160		
	人件費計(B)	千円		534	535	534	610	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円		1,049	1,050	1,049	1,125	0

事務事業名	男女共同参画相談事業	担当部	市民生活部	担当課	人権・男女共同参画課	担当係	男女共同参画係
-------	------------	-----	-------	-----	------------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成18年の佐野市男女共同参画推進条例制定に伴い、平成19年度より女性のためのカウンセリング相談を開始した。平成21年度の佐野市男女共同参画推進センター開館に伴い女性相談を開始した。平成28年度にセンターが移転となったが両事業とも継続して実施している。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	ドメスティックバイオレンス(DV)やセクシュアルハラスメント(セクハラ)については、配偶者暴力防止法や男女雇用機会均等法が改正され、対象範囲が拡大されているが、未だ社会の理解が不十分であり潜在化している被害も多い。同様の相談は、県(パルティ)をはじめ、県内14市町で実施している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	カウンセリング相談については、午後の時間帯の希望者に対し、第1木曜日の午後を1枠増やしたのことで、相談をしやすくなったとの意見がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	女性の悩み等の相談事業は、人権侵害や男女共同参画社会の実現を阻害する要因に対処し、被害者の自立支援に繋がり、社会の様々な活動に参画できることに結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	佐野市男女共同参画推進条例の規定に関する相談の申出に対応するものであり、市が行う必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	男女共同参画社会の実現を目指すためには、女性の社会参加や自立を阻害する要因に対処するための相談事業を実施する必要があるため、対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	これまでの事業結果等より、相談事業の内容等は現状において最良の方法である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業があり統合・連携できる・している	理由・改善案	類似事務事業名 女性相談事業(家庭児童相談課) 女性のためのカウンセリング相談は専門職への委託事業である。女性相談は家庭児童相談課との連携により実施している。 * 類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費については、ウイメンズハウスとちぎの相談委託料と負担金のみであり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	男女共同参画を阻害する要因に対処するための事業であり、困難な状況にある市民への受益者負担はなじまない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	今後、女性の社会進出が進むことによりますます需要は増えるものと考えられるため、廃止・休止はないと思われる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		男女共同参画審議会運営事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)					
政策体系	基本目標	7 市民参加による自立したまちづくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	人権・男女共同参画課				
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	男女共同参画係	担当課長名	鈴木弘子					
	施策	2 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業						
	基本事業	2 男女共同参画の意識づくりの推進					実施計画事業・一般事業		一般事業						
	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
予算科目	2078	一般	2	1	16	男女共同参画審議会運営事業					任意的事業・義務的事业		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H13年度～年度			根拠法令 条例等	佐野市男女共同参画推進条例 佐野市男女共同参画審議会規則					実施方法		直営	
												事業分類		審議会・協議会等運営事業	
												リーディングプロジェクト		該当なし	
												市長市政公約		該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
市長の求めに応じ、佐野市における男女共同参画社会づくりについて、幅広い意見や専門的意見を聴くために、審議会を開催する。		【活動内容】 ・第1回審議会の開催(8/8): 男女共同参画プラン(第二期)平成30年度事業実績及び令和元年度事業計画、第3期プラン策定について審議 ・第2回審議会の開催(11/18): 第3期プラン策定について審議 ・男女共同参画推進事業者表彰「パレット賞」の選考委員として、4名選任					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
会議の開催延べ回数		回	1	1	2	2	2

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

男女共同参画審議会委員		対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
委員数		人		15	15	15	15	15

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的 調査・審議事項に対し意見を述べてもらう。		成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
調査・審議事項数		件		1	1	2	2	2

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

男女共同参画の理解を深めている。		上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
男女共同参画講演会、研修会延べ参加者数		人		657	1,403	522	400	400

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	91		91		99		213			
	事業費計(A)	千円	91		91		99		213		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			委員報酬	91	委員報酬	91	委員報酬	99	委員報酬	213		
	人件費	人	3		3		3		2			
のべ業務時間	時間	100		100		100		110				
人件費計(B)	千円	382		382		382		420		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	473		473		481		633		0		



事務事業名	男女共同参画審議会運営事業	担当部	市民生活部	担当課	人権・男女共同参画課	担当係	男女共同参画係
-------	---------------	-----	-------	-----	------------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	佐野市における男女共同参画に関する計画(プラン)を策定するにあたり、平成13年8月に佐野市男女共同参画推進懇話会設置要綱を制定した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	栃木県において、男女共同参画に関する条例が平成14年12月に制定され、審議会が設置された。近隣の足利市、栃木市及び小山市においても条例が制定されている。 佐野市においては、平成18年7月に佐野市男女共同参画推進条例が施行となり、佐野市男女共同参画審議会が設置となった。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成29年度審議会で「審議会委員の女性登用について、男女別の公募委員の数を意識して取り組んでいただきたい。」と委員からの意見があった。平成30年度の改選に伴い公募により委員を募ったところ、女性3名の応募があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	行政の男女共同参画に関する施策について審議することにより、その内容がより適したものに改善されることになり、男女共同参画活動の支援と推進体制の整備に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	佐野市男女共同参画審議会は、幅広い視点や専門的意見を、市の男女共同参画に関する施策に反映させるため設置されたものであり、市が行うことは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	佐野市男女共同参画審議会は、幅広い視点や専門的意見を、市の男女共同参画に関する施策に反映させるため設置されたものであり、対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	市の男女共同参画に関する施策に対する市民による審議体制であるため、現状の体制ややり方が最良の方法である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	佐野市男女共同参画審議会は、幅広い視点や専門的な意見を、市の男女共同参画に関する施策に反映させるため設置されたものであるため他にはない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	委員報酬は定額のため、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	市の施策について意見を聴取するものであり、受益者負担を求める余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	本市における男女共同参画の推進が不要となった時に終了となる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)																									

事務事業名	男女共同参画ネットワークさの支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
	担当組織	担当部	担当係	市民生活部	男女共同参画係	担当課	担当課長名	人権・男女共同参画課	鈴木弘子	
政策体系	基本目標	7 市民参加による自立したまちづくり				事業区分	新規事業・継続事業		継続事業	
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					実施計画事業・一般事業		一般事業	
	施策	2 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現					市単独事業・国県補助事業		市単独事業	
	基本事業	2 男女共同参画の意識づくりの推進				任意的事業・義務的事業		任意的事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	2073	一般	2	1	16	男女共同参画ネットワークさの支援事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H11年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市男女共同参画推進条例 佐野市男女共同参画推進団体活動支援事業補助金交付要綱				
						リーディングプロジェクト	市長市政公約		該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
男女共同参画ネットワークさの補助金を交付している。また、ネットワークさの共催で講演会を開催したり、団体主催の会議や研修会の開催を支援することで、男女共同参画社会の実現を市民(団体)との協働で取り組んでいる。  * 男女共同参画ネットワークさの…市内の男女共同参画を推進する団体等の連合体であり、男女共同参画社会の実現をめざし活動している。	【市の活動】男女共同参画ネットワークさの補助金の支出、代表者会(11回実施)におけるアドバイス、自主研修会等の開催支援、市外における研修会等に参加の際の市有バスの運行支援等 * 男女共同参画講演会は台風第19号の影響により中止 【会の活動】総会(5/20)、とちぎ県民のつどいへの参加(6/22)、ハートフルフェスタ共催(8/22)、男女共同参画フォーラムへの参加(8/30)、防災研修会(1/21)、新宿区女性海外研修者の会視察対応(2/4)、市各種審議会等へ委員として派遣					
活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
補助団体数	団体	1	1	1	1	1

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
補助対象団体数	団体	1	1	1	1	1

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
支出割合(支出決算額/収入決算額)	%	99.9	100	22.0	100	100

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
男女共同参画講演会、研修会延べ参加者数	人	657	1,403	522	400	400

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費投入量	財源内訳		H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	単位	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円		430	430	64	430					
	事業費計(A)	千円		430	430	64	430					0
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	430	補助金	430	補助金	64	補助金	430		
人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	2						
	のべ業務時間	時間	400	400	300	400						
	人件費計(B)	千円	1,526	1,528	1,145	1,526					0	
トータルコスト(A)+(B)	千円		1,956	1,958	1,209	1,956					0	

事務事業名	男女共同参画ネットワークさの支援事業	担当部	市民生活部	担当課	人権・男女共同参画課	担当係	男女共同参画係
-------	--------------------	-----	-------	-----	------------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	旧田沼町で平成11年に「パルティンぐためま」が、旧佐野市では平成13年に「佐野市女性団体連絡協議会」が、旧葛生町では平成15年に「葛生町女性団体連絡協議会」がそれぞれ設立され、各市町で支援が始まった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国においては、平成28年に「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」を制定、女性の採用や登用、指導的地位への人材育成を推進している。また、平成30年に「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」を制定、政治分野における男女共同参画を積極的に推進している。県においても、平成28年に企業や団体との連携による「とちぎ女性活躍推進プロジェクト」を立ち上げ女性の活躍を推進している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	団体の事業や目指す形について、市と継続的な協議を行いたい。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	日本女性会議の開催をきっかけに実行委員、運営委員として活動することにより、各種団体や市民と幅広く協働を行うことで、自らの団体活動に活かしている。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	男女共同参画の推進は市だけではなく、市民(団体)と協働することが必要であるため、団体の支援は政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	男女共同参画社会の実現は、国において緊急かつ重要な課題とされ、国及び自治体が行き届くこととなっているため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	男女共同参画社会の実現を目指す団体への活動支援であり、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	本市における男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画ネットワークさの果たす役割は重要である。団体の更なる活動活性化のため事業改善が必要である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	男女共同参画社会の実現を目指す団体に対し支援する事業は他にない。 * 類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費は団体への補助金のみであり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	活動支援という内容であり、受益者負担にはなじまない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	本市における男女共同参画社会の実現のための官民による事業のため、廃止(休止)することはできない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 市と団体との協議を進め、団体活動のさらなる活性化や有効化を図る。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	団体の活動が形骸化しつつあるため、目的の見直しややり方改善、時代に即した事業展開が図れるよう、市と協働して臨む必要がある。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		男女共同参画プラン策定事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	7 市民参加による自立したまちづくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	人権・男女共同参画課
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	男女共同参画係	担当課長名	鈴木弘子	
	施策	2 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 男女共同参画の意識づくりの推進					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	2077	一般	2	1	16	男女共同参画プラン策定事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H30年度～R1年度			根拠法令 条例等	男女共同参画社会基本法 佐野市男女共同参画推進条例 女性活躍推進法 DV防止法				
	任意の事業・義務の事業						任意の事業				
	実施方法						一部委託				
事業分類						計画策定・管理事業					
リーディングプロジェクト						該当なし					
市長市政公約						該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
男女共同参画社会の形成促進に関する施策についての基本的な計画である佐野市男女共同参画プラン(第二期)の計画期間終了に伴う見直しを行い、新プランを策定する。 【平成30年度の事業】 ①男女共同参画推進本部会議及び男女共同参画審議会を開催し、調査内容を決定する。 ②アンケート調査の実施し、報告書を作成する。 【令和元年度の事業】 市民意識調査及び事業所実態調査結果を基に、男女共同参画に関する意識や現状を把握し、男女共同参画推進本部会議、男女共同参画審議会を開催し佐野市男女共同参画プラン(第3期)の作成を進める。また、パブリックコメントを実施し、新プランを公表する。		男女共同参画推進本部幹事会開催(7/18)、男女共同参画推進本部会議開催(8/1)、男女共同参画審議会開催(8/8)、男女共同参画推進本部幹事会意見徴収(11/5～11/12)、第2回男女共同参画審議会開催(11/18)、第2回男女共同参画推進本部会議開催(12/23)、パブリックコメントの実施(2/19～3/19)					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
各種会議の開催回数		回		3	5		
アンケート配布数		枚		2,100			
プラン作成部数		部			75		

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

①市民 ②事業所	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	市人口	人	120,018	119,349	118,450		
	事業所数(経済センサス調査)	事業所	2,470	2,470	2,470		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的	男女共同参画の意識の向上を図る。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
		男女の地位が平等になっていると考えている市民の割合(社会全体)	%	14.8	14.4	14.5		
		男女の地位が平等となっていると考えている市民の割合(職場)	%	22.9	27.1	21.2		

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

男女共同参画の理解を深めている。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	男女共同参画講演会、研修会 延べ参加者数	人	657	1,403	522		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)		
	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円		479	1,492				
	事業費計(A)	千円	0	479	1,492	0	0		
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
				消耗品費	14	委員報酬	84		
				印刷製本費	13	消耗品費	12		
			通信運搬費	183	印刷製本費	0			
			業務委託料	269	業務委託料	1,397			
人件費	人	3	3						
のべ業務時間	時間	660	750						
人件費計(B)	千円	0	2,522	2,861	0	0			
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	3,001	4,353	0	0			



事務事業名	男女共同参画プラン策定事業	担当部	市民生活部	担当課	人権・男女共同参画課	担当係	男女共同参画係
-------	---------------	-----	-------	-----	------------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	「佐野市男女共同参画プラン(第二期)」が令和元年度で計画期間が満了することで、今後より積極的な男女共同参画に関する施策を推進していくために、「佐野市男女共同参画プラン(第3期)」の策定を行う。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国においては平成27年に「第4次男女共同参画基本計画」を策定、平成28年には「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」を施行し、男女共同参画の推進を加速化している。県においても、平成28年に「とちぎ男女共同参画プラン(四期計画)」を策定、「とちぎ女性活躍推進プロジェクト」の実施などあらゆる場における女性の活躍を推進する動きがある。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成30年に男女共同参画ネットワークさのより、政策・方針決定過程への男女共同参画、積極的な女性の管理職登用に向けての環境整備や働き方、男性の育児休暇が取得しやすい職場づくりへの推進等の要望があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	佐野市男女共同参画推進条例で「男女共同参画推進に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための基本的な計画を策定する」と規定されており、「男女共同参画社会の実現」という政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	佐野市男女共同参画推進条例で「男女共同参画推進に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための基本的な計画を策定する」と規定されており、市が男女共同参画プランを策定することは妥当である。
有効性 評価	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	男女共同参画プランは、男女共同参画推進に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための基本的な計画であるため、その対象は市民及び事業所であり、プラン策定により男女共同参画の推進を図ることを目的とする。
	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	プラン作成に関する事務事業のやり方・進め方の見直しにより、プランの内容をより質の高いものとすることが可能なため。
効率性 評価	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	男女共同参画推進のための計画策定は他にはない。
	* 類似事務事業があれば、名称を記入			
公平性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	プラン策定のための最小限の経費であり削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	男女共同参画推進条例によるプランの策定は市の責務であり、受益者負担になじまない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 第3期プランの策定事業は令和元年度をもって終了するが、プラン自体は男女共同参画社会が実現されるまで継続される。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業終了 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)  	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持			×																					
	低下		×	×																					